

転倒災害の再発防止のための自主点検結果について

横須賀労働基準監督署

1 対象

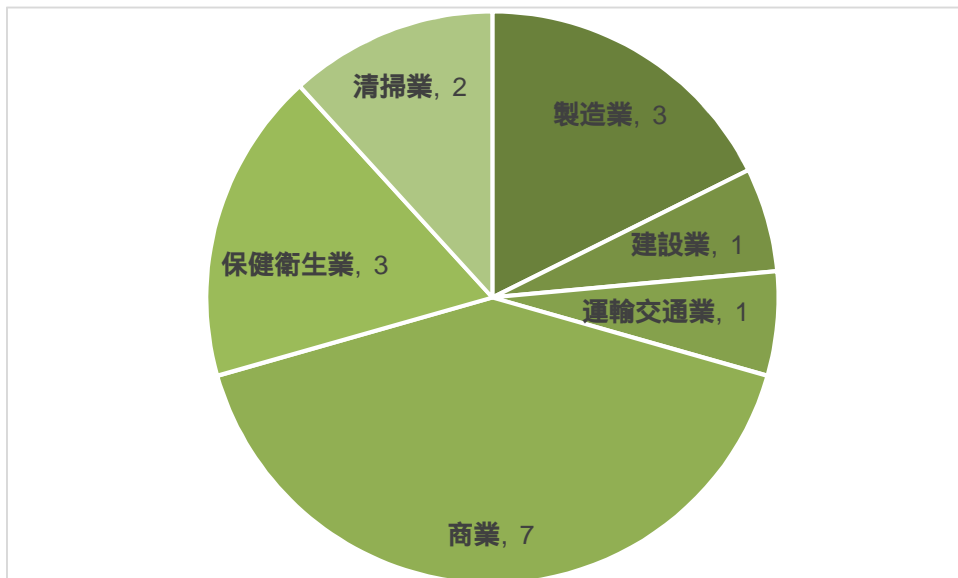
労働者死傷病報告で把握した令和2年に休業見込み1ヶ月以上の転倒災害が発生した20事業場

(発送: 令和3年7月2日 提出期限: 令和3年7月19日)

2 提出事業場数

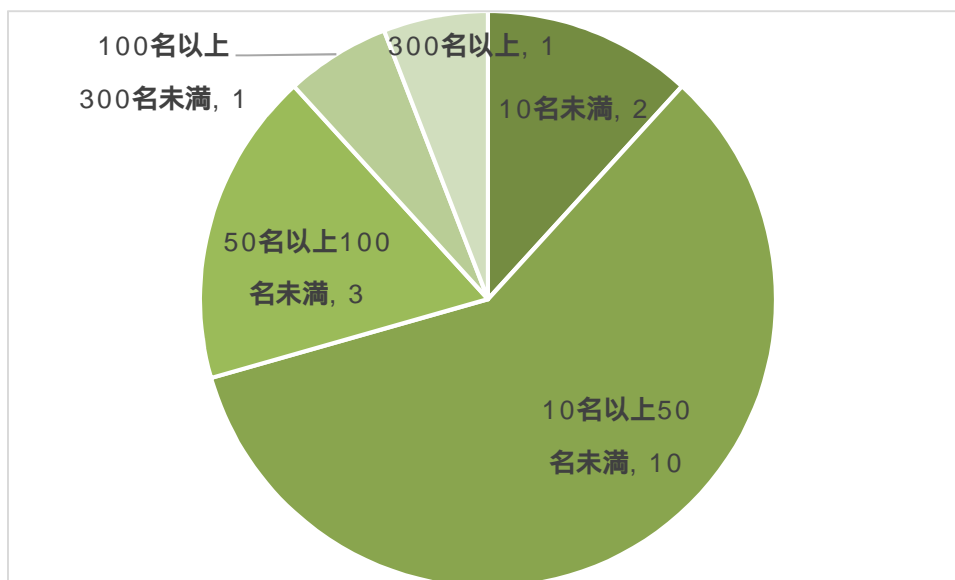
17事業場(提出率85%)

3 提出事業場の業種



最も件数の多い商業においては、小売業が5件を占めています。

4 提出事業場の労働者規模



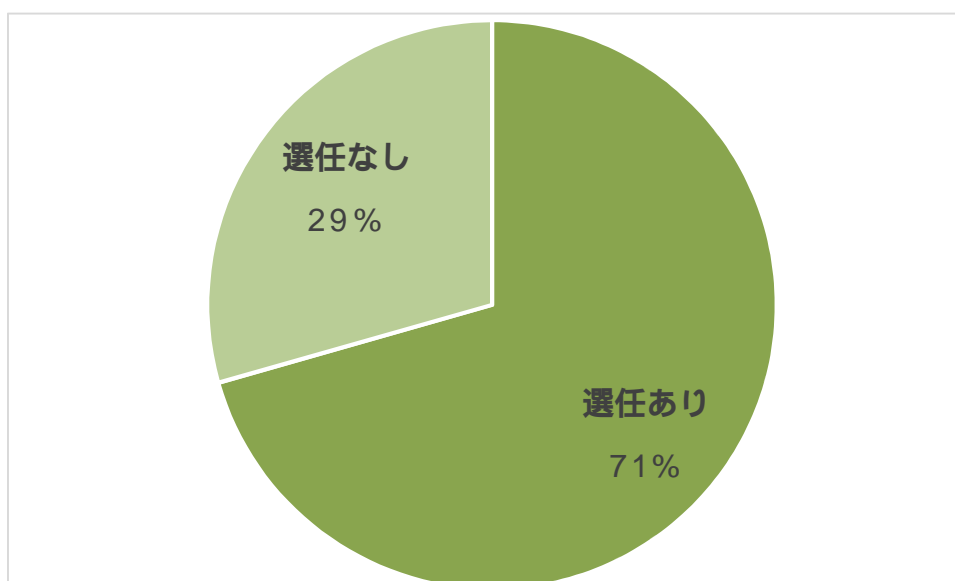
5 自主点検内容

別紙のとおり

6 自主点検結果

1 安全衛生管理体制

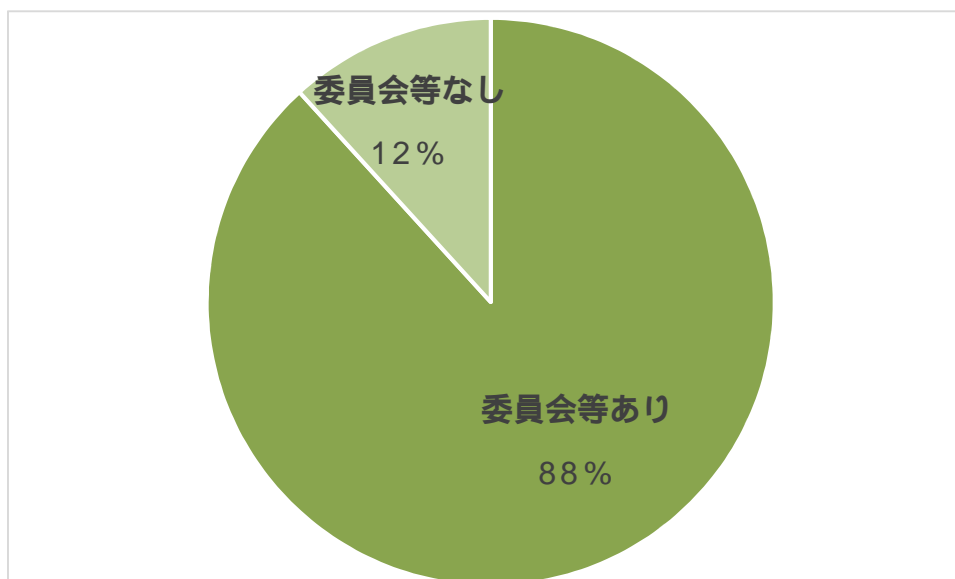
(1) 安全衛生担当者の選任



約7割の事業場で安全衛生担当者を選任しているものの、転倒災害が発生している状況であり、当該担当者を選任した際は、転倒災害防止に係る知識の付与

を適切に行い、当該担当者が中心となって転倒災害防止活動の実施強化を図ることが望めます。

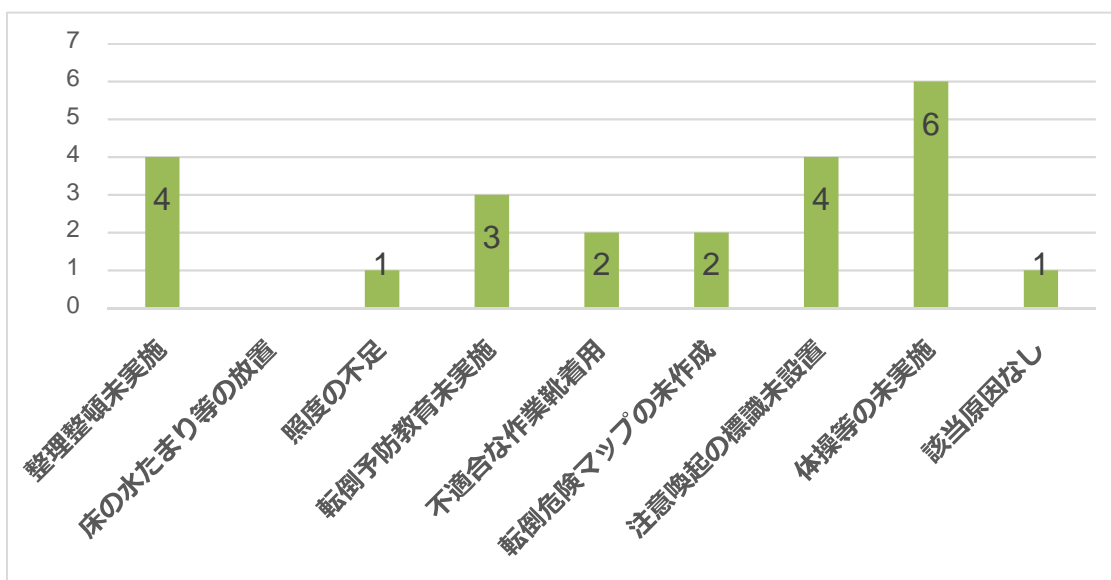
(2) 安全衛生委員会等の実施



約9割の事業場で安全衛生委員会等を実施しているものの、転倒災害が発生している状況であり、当該委員会等において、転倒災害防止に向けた具体的な取組事項を決定し、計画的に活動することが望めます。

2 転倒災害の原因

選択形式（複数回答可）

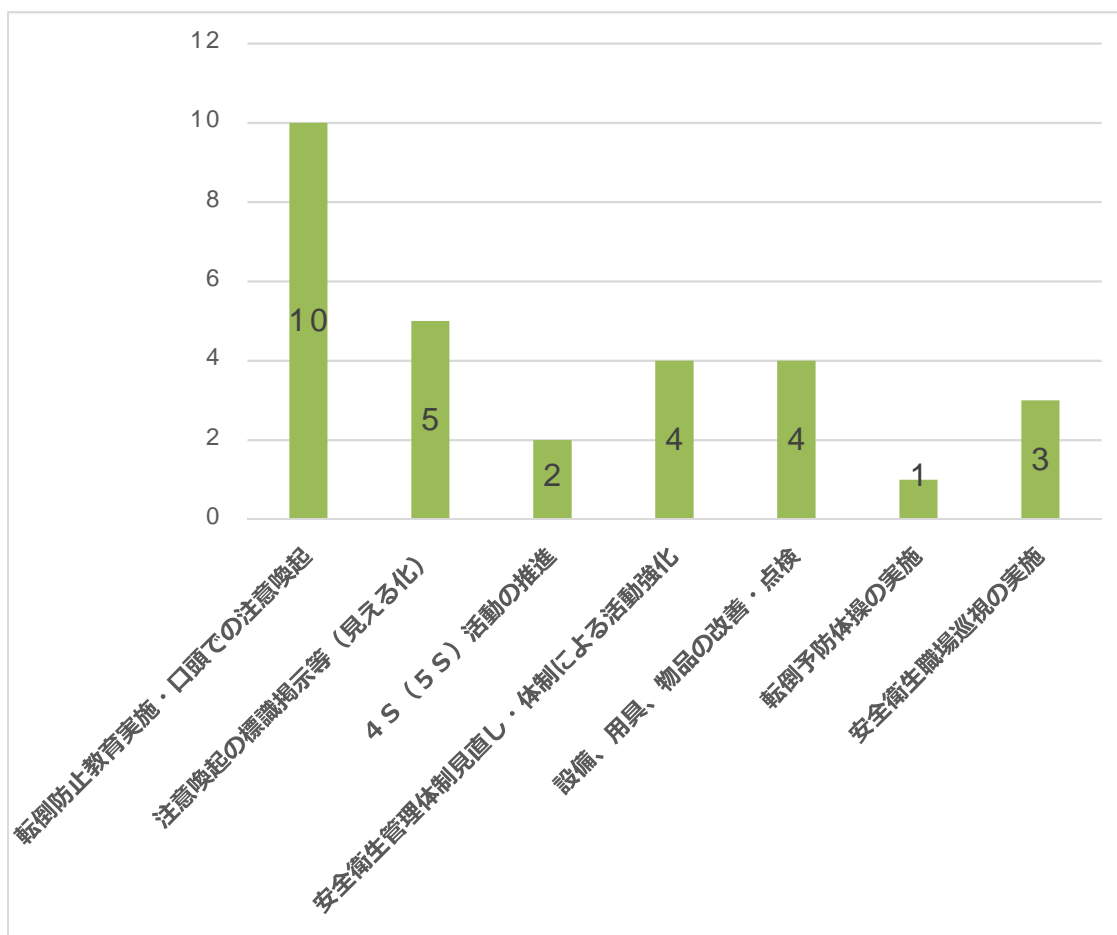


「体操等の未実施」が6件、「注意喚起の標識未設置」・「整理整頓未実施」が

ともに4件、「転倒予防教育未実施」が3件と災害発生原因として多く挙げられているため、これらについては転倒災害防止対策として優先的に取り組むことが望まれます。

3 転倒災害の再発防止対策

自由記入



転倒災害の再発防止対策として、「転倒防止教育・口頭での注意喚起」が 10 件で、最も多くの事業場が対策実施事項に挙げています。

災害発生原因として、複数の事業場が転倒予防教育未実施を挙げていたため、一時的な注意喚起で終わることなく、継続的に転倒予防のための安全衛生教育を実施することが望まれます。

また、「設備、用具、物品の改善・点検」は4件となっていますが、可能な限り設備改善などの本質的な対策を講じ、設備改善などが困難な場合や、設備改善な

どを行っても転倒リスクが残存する場合には、「注意喚起の標識掲示等（見える化）」を実施することが効果的です。

以下に転倒災害発生事業場が実施した対策事例を記載しますので、別添リーフレット「STOP!転倒災害プロジェクト神奈川」の内容と併せて参考にしながら、転倒災害防止活動を推進してください。

転倒防止教育・口頭での注意喚起実施

- ・ミーティング時に転倒に注意するよう指導した。
- ・上司による注意喚起を定期的実施することとした。
- ・安全作業手順の確認及び注意点の指導を行った。
- ・全従業員に災害発生場所の写真を見せながら、通路の確保・無理に物をまたがない等について周知した。
- ・災害発生作業場だけでなく、同種作業現場の者にも注意喚起を行った。
- ・使い慣れた場所であっても、足元の確認は必ず行うよう周知した。

注意喚起の標識掲示等（見える化）

- ・転倒災害発生場所の写真を載せた再発防止対策書を作成し、関係者に対する周知を図った。
- ・災害発生場所及び転倒危険箇所に注意喚起表示を行った。
- ・ヒヤリハット事例を明示し、全員に周知した。

4S（5S）活動の推進

- ・災害発生作業場所の整理整頓を実施し、注意喚起表示も併せて行った。

安全衛生管理活動体制の見直し・活動強化

- ・安全活動の推進役として安全推進者を配置した。
- ・作業前ミーティング実施時に安全作業の確認を行うこととした
- ・毎月1回安全点検を実施することとした。
- ・毎月全従業員を集めて交通安全・ヒヤリハット報告・危険箇所（滑りやすい階段・危険な交差点や曲がり角）等について再確認するとともに注意喚起することとした。

設備、用具、物品の改善・点検

- ・通路の滑りやすい箇所にマットを設置し、濡れた場合でも滑りにくくした。
- ・転倒リスクを下げるために、設備レイアウトを変更した。
- ・早朝作業時は暗いので、明るいヘッドライトを使用することとした。
- ・靴底の検査を月1回行うこととした。

転倒予防体操の実施

- ・作業前に簡単なストレッチ運動を実施することとした。

安全衛生職場巡視の実施

- ・安全担当者による作業観察を月1回実施するようにした。
- ・衛生委員会開催時に災害発生現場を巡視することとした。

転倒災害の再発防止のための自主点検等報告書

令和 年 月 日

横須賀労働基準監督署長 へ

事業場名

所在地

業種

労働者数

名(派遣労働者及びパート等の短時間労働者を含む)

今年発生した転倒労働災害について、下記のとおり自主点検を実施しましたので報告します。

1 転倒労働災害発生事業場の安全衛生管理体制について教えてください。

(1)以下の安全衛生担当者のうち選任しているもの全てに☑をつけてください。

安全管理者 衛生管理者 安全衛生推進者 安全推進者 衛生推進者

(2)以下のうち実施しているもの全てに☑をつけてください。

安全委員会 衛生委員会 安全衛生委員会
その他(関係労働者の意見を聴くための機会を設けている)

2 転倒労働災害が発生した原因として考えられるもの全てに☑をつけてください。☑をつけた項目については、改善措置を実施してください。

No.	原因	
1	身の回りの整理・整頓を行っていなかった。通路、階段、出口に物を放置していた。	<input type="checkbox"/>
2	床の水たまりや氷、油、粉類などは放置せず、その都度取り除いていなかった。	<input type="checkbox"/>
3	安全に移動できるように十分な明るさ(照度)が確保されていなかった。	<input type="checkbox"/>
4	転倒を予防するための教育を行っていなかった。	<input type="checkbox"/>
5	作業靴は、作業現場に合った耐滑性を有し、かつサイズのあったものを着用していなかった。	<input type="checkbox"/>
6	ヒヤリハット情報を活用して転倒しやすい場所の危険マップを作成し、周知していなかった。	<input type="checkbox"/>
7	段差のある箇所や滑りやすい場所などに注意を促す標識をつけていなかった。	<input type="checkbox"/>
8	ストレッチ体操や転倒予防のための運動を取り入れていなかった。	<input type="checkbox"/>

3 上記原因の項目の他に今回の転倒災害の原因として考えられるもの及び今回の転倒災害を契機として新たに取り組むこととした対策を記入してください。

また、事業場内で転倒災害防止対策を周知徹底するために作成した資料等があれば添付してください。

例)4S、KY活動、見える化などの安全活動を推進する旗振り役として、安全推進者を配置した。
毎月1回、職場の総点検を実施することとした。・・・など。

※記載しきれない場合、余白又は別紙に記載し、添付してください。